

ボーイスカウト東京連盟  
あすなる地区広報誌  
第5号  
2015年8月30日  
組織拡充委員会

## 世界ジャンボリー 特集号

山口県きらら浜で開催された第23回世界スカウトジャンボリーに派遣された世田谷・あすなる隊と、練馬・あすなる隊のスカウト、リーダーの皆さんの活動内容を特集しました。

### 7/27（月） 東京を出発、きらら浜ジャンボリー会場へ

あすなる地区派遣隊は杉並公会堂前に集合し、バスに乗車して砧公園で世田谷地区派遣隊と合流して世田谷・あすなる地区派遣隊として出発式を行いました。

羽田空港より岡山空港に到着後、バスできらら浜のジャンボリー会場に到着し、これまでの訓練キャンプでの経験を生かし、テントや食堂など、キャンプサイトの設営を開始して夕食になりました。



## 7/28（火） サイトの設営、ゲートも完成

世田谷・あすなる隊は本日から本格的な活動が始まり、食材の配給を受けてジャンボリー最初の朝食。朝礼の後、全員が一丸となってサイトを囲む柵や物干し竿を設営し、大会テーマの「和」を再現した、竹を使ったゲートも作成しました。

午後のフリー時間には、早速海外スカウトと交流するスカウトもおり、交流機会を増やしたいと意気込んでいました。



## 7/29（水） 世界中のスカウトが集まり、開会式

ジャンボリー会場は世界各国のスカウトで溢れ、色々な言葉が飛び交って、ここがどこの国か分からなくなるほどです。すれ違うたびにお互いに挨拶して、笑顔のあふれた時間を楽しみました。

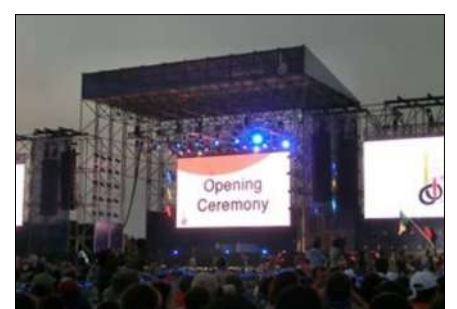
海外スカウトの陽気なペースに引っ張られて、スカウトも日に日にテンションが上がりました。

本日の開会式ではアトラクションとして航空自衛隊ブルーインパルスによるエアショウもあり、スカウトの気分は最高潮に達しました。言葉の壁も関係なく、世界のスカウトと盛り上がり、世界ジャンボリーを一層実感できました。

あるスカウトは「全世界の人々が集まり一つになれるこんなに平和な場所が存在するのか」と言い、未来を担う、今のスカウトの頼もしい一面をみた瞬間でした。

ジャンボリーに集う世界のスカウト一人ひとりが、この世界をよりよくしてくれることを期待してやみません。

開会式での”It's YOUR Jamboree”の言葉の通り、スカウトのためのジャンボリーが始まりました。



## 7/30 (木) 「カルチャー」プログラムで世界文化を体感

快晴で朝から風がなく、日中は日差しが強くて、うちわが手放せない暑い一日でした。

世田谷・あすなろ隊では、普通のモーニングゲームのつもりが、途中からメキシコ隊のスカウトも参加して「しっぽ取りゲーム」で走り回り、自然と交流が始まりました。

本日のプログラムは「カルチャー」で、世界各国の文化を体感して、海外スカウトと交流しました。

また、本日は大会本部から支給されたお揃いのポロシャツを着用して、一日を過ごしました。



## 7/31（金） 広島ピースプログラムに参加

世田谷・あすなる隊は朝早くから広島へ移動して「広島ピースプログラム」に参加しました。原爆ドームや平和記念公園の慰霊碑、広島平和記念資料館などを見学し、資料館では日本と海外のスカウトが展示に見入り、平和の大切さについて学びました。

また、記念公園では地元の方にお話を伺い、書道や折り鶴を通して交流ができました。



練馬・あすなる隊は「地球開発村 (Global Development Village) プログラム」に参加しました。



## 8/1（土） 本日は…休息日

猛暑による熱中症を避けるため、本日の「ネイチャープログラム」は中止になり、スカウトは突然の休暇をサイトの点検やジャンボリー会場内の散策、フリープログラムの参加、外国スカウトとの交流などを楽しみました。

日々の会場での活動を紹介すると、朝の配給は5時からで、主食はパン、パスタ、コーンフレーク、米などから選択でき、料理時間を短縮するためパンを選び続ける班もあれば、やはりお米！の班もあります。

朝礼やスカウトタウン、モーニングゲームは毎朝行い、世界各国の派遣隊の国旗儀礼の様子を見るのも、楽しみの一つ、学びの一つです。



## 8/2（日） 宗教儀礼・フードフェスティバル・アリーナショー

本日は「信仰 奨励の集い」、「フードフェスティバル」、「アリーナショー」の日でした。

**信仰奨励の集い**は世界の宗教が集う場で、お互いの信仰を理解し、尊重して、各国スカウトのスピーチに耳を傾け、全員で祈りを捧げました。自らの信仰する宗教のプログラムに参加し、信仰について考え直すことができました。



**フードフェスティバル**は、各国のスカウトがお互いに自分の国の伝統的な料理を昼食として紹介する時間で、世田谷・あすなる隊は「焼きそば」を紹介しました。



**アリーナショー**には、皇太子殿下や安倍総理がお見えになり、EXILE USAさんの率いるDANCE EARTH PARTYのみなさんや、中川翔子さん、宇宙飛行士の野口聡一さんの姿もあり、スカウトのテンションは最高潮となりました！アリーナショーで世田谷・あすなる隊は、ハッピーを着て、気合いを入れて盛り上げました！



## 8/3（月） GDV（地球開発村）プログラム

相変わらずの猛暑の中、モーニングゲームで思い切り走り回って汗をかいたあと、午前中の「フリータイム」ではスカウト達の笑い声や歌声が響きました。

午後の「GDV（Global Development Village）プログラム」は、環境問題を取り上げ、宗教などについて考えるブースがたくさん用意され、世界のスカウトと共に解決策を考えました。

世田谷・あすなろ隊はこの日は清掃当番で、スウェーデンやスイスのスカウトと共に清掃作業に当たりました。また、「よさこいソーラン節」の予選があり、腕前を披露しました。

会場での日々の活動を紹介しますと、キャンプサイトの周りは必然的に海外の隊とお隣同士ですが、世田谷・あすなろ隊の隣はインド、インドネシア、スウェーデンの各隊スカウトです。

各隊は国ごとに国旗の掲揚方法、サイトでの過ごし方や時間のペース、食事の様子が違い、観察しているだけでも飽きません！





## 8/4（火） 「ネイチャー」と「ウォーター」プログラム

連日の猛暑日となったため、中止になったハイキングなどの「ネイチャープログラム」の代わりに、世田谷・あすなる隊は午前中、会場内の「きらら浜自然観察公園」で、多くの野鳥を身近に観察し、生物について勉強しました。

昼食会はお向かいで、既に仲良しの香港隊と食事会を開催し、夜は世田谷地区がホームステイの受け入れをするイギリス派遣隊とのキャンプファイヤーや、メキシコ隊のスカウトとの交流会でゲーム会を行いました。



練馬・あすなる隊は「ウォーター」プログラムに参加し、宇部港でクルーズ船に乗船して宇部港内や工場群、タンカーの入出港の様子などを見学しました。港を巡る船の上は心地よい風が吹いて、リラックスして楽しめました。



## 8/5（水） コミュニティプログラムで各地巡り

世田谷・あすなる隊は本日、「コミュニティプログラム」に参加し、きらら浜を飛び出して、コウモリ班は岩国市、クマ班は周南市、スローロリス班は防府市、カモノハシ班はときわ公園と、山口県内を巡りました。

各班とも現地の学生との交流を深めたり、公共施設の見学など、海外スカウトと共に日本の文化に触れました。小学校訪問による地域との交流では、小学生が夏休み中なのに一生懸命にもてなしてくれました。



## 8/6（木） 海辺へ、そして柳井津へ

世田谷・あすなる隊は最後のプログラムである「ウォータープログラム」に参加し、キャンプサイトから水着に着替えて海辺へ向かい、サッカーやカヌー体験、海水浴を楽しみました。

サイト帰着後は台湾派遣隊を招いて「チラシ寿司」の夕食会を開催し、盛り上がりました。



練馬・あすなる隊は柳井市の柳井津で、江戸時代の繁栄が偲ばれる白壁の街並みを見学し、地元の学校で剣道の試合や茶道の紹介など、日本の伝統文化にふれました。

割り竹で組んだ骨組みに和紙を貼り、赤く塗った地元の名物「金魚ちょうちん」も作りました。



## 8/7（金） 撤営、…閉会式

世田谷・あすなる隊は予備撤営の日、お世話になったゲートも撤去し、たくさんの思い出とともに荷造り。

午後からはスカウトに「そなえよつねに」の一字ずつが与えられ、誰とでも自由に組み合わせて一体にするゲームが行われ、スカウトの絆を一層深めることができました。

アリーナでの閉会式では、下村文部科学相の挨拶、参加国国旗の入場、大会旗の降納、2019年にアメリカで開かれる次の世界ジャンボリーへの引継ぎセレモニーなどが行われ、「和」をテーマにした本大会は、夜空を彩る数々の花火とともに、日本ならではの盛大な三本締めで幕を閉じました。



## 8/8 (土) 世田谷・あすなろ隊 帰京

世田谷・あすなろ隊は、ジャンボリー中お世話になったキャンプサイトに弥栄で感謝。秋芳洞を見学して秋吉台のホテルで入浴、焼き肉の昼食ののち、広島空港を発って羽田空港に到着。

バスにて砧公園に向かい、解散式で世田谷・あすなろ隊の班員名を記入した隊旗を飯沼隊長に返還し、あすなろ地区のスカウトは家族の出迎えの待つ杉並公会堂前に到着して、解散になりました。



## 8/9 (日) 練馬・あすなろ隊も帰京

練馬・あすなろ隊は、世田谷・あすなろ隊に1日遅れて新幹線で東京駅に到着し、解散しました。



## 8/9（日）～11日（火） ポーランド隊のホームステイ、東京ツアー

ジャンボリーに参加のポーランド隊のリーダー、スカウト50名は、9日、新幹線で東京駅に到着した後、あすなる地区各団のホームステイ先の各家族に迎えられ、お互いに名前を紹介したりしたあと、各家庭に向かいました。

10日には地区のベンチャースカウトが、ベンチャースカウトフォーラムで事前に計画した「東京ツアー」の通り、新宿に集合したあと、浅草の雷門、仲通りで日本の伝統を見学し、秋葉原やファッションの原宿を案内しました。



大きなザックを背負って東京駅に到着



ホームステイ先の家族と初めて対面



浅草雷門で記念撮影



ベンチャーがガイド役で案内

### 編集後記

本号は第23回世界スカウトジャンボリー大会の特集号としました。

ジャンボリーの期間中、世田谷・あすなる隊のfacebookで届けられたメッセージをもとに、小平副長、練馬・あすなる隊の嶋田隊長が撮影した写真を提供いただき、飯沼隊長、小原副長、清田副長など、皆様のご協力をいただきました。

ジャンボリーの期間中は各隊、各班が日によって別プログラムで行動するため、記事が特定の隊に偏重したり、実際の活動と記事内容が異なる場合もあるかと思いますが、活動内容の代表例として紹介しました。

なお、世田谷・あすなる隊、練馬・あすなる隊とも、8月30日（日）に参加スカウト、リーダー、関係者が集まり、第23回世界スカウトジャンボリー派遣隊としての解隊式を行いました。